



## 6年生、元気に修学旅行から帰校

11月9日(土)・10日(日)に修学旅行へ行ってきました。新型コロナウイルスの影響で、広島を修学旅行で訪れるのは、4年ぶりです。1日目は、広島の平和公園で被爆者の御堂さんからお話を聞き、資料館見学や公園のフィールドワークなどを行いました。御堂さんは、9歳の時自宅前で被爆し家族を亡くしました。2階にいて大やけどをしたお兄さんを連れて逃げるも、1週間後に失い、当日出かけていたお母さんには再会したものの、原爆症で2か月後に失い一人きりに。子どもでありながら、自分でお母さんの遺体を焼いたという苦しい体験もお話してくださいました。今現在行われているロシアによるウクライナ侵攻などにも触れ、戦争はいったん始まると止められなくなる、戦争は絶対してはいけないとお話してくださいました。みんな真剣に聞き入っていました。「御堂さんは、お兄さんやお母さんを戦争で亡くしたけれど、自分には家族がいて今幸せにしています。幸せを守っていきたい。」「周りとのけんかも小さな戦争だと思う。自分の近くの人を大切にしたい。」という感想やまとめを書いている子もいました。2日目は、宮島にフェリーで渡り、厳島神社、宮島水族館の見学、商店街でのお買い物などを楽しみました。



## 5年生フードドライブの取り組み

5年生が、環境問題について学んでいます。その一つに食糧問題があります。フードロスが減らしていく一環として学校に食物残渣発酵分解装置が置かれていますが、食品の有効活用として「フードドライブ」の取り組みをしてくださいました。フードドライブとは、各家庭で使いきれない未使用の食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体を通じて子ども食堂など地域の社会福祉施設・団体等に寄付する取り組みです。まず、フードロスやそれに伴う問題について学びました。そして「フードドライブ」を実現するために、朝会での呼びかけ、放送、学級への説明、チラシやポスター作り等役割分担をして全校児童に働きかけました。フードバンクの実施日には、朝からたくさんの食料品が集まりました。それらを整理し、段ボール4箱分の食料品とお米5袋を5年生からフードバンクのスタッフさんへお渡しすることができました。フードロスの問題をきっかけとして、より深く環境問題や社会問題を学んでいくこと、そして考え計画し実行することは、未来を生きていくためにとても大切な学びでもあります。生き生きと主体的に活動する5年生に高学年としての頼もしさを感じました。

